

衆議院厚生労働委員会ニュース

【第 204 回国会】令和 3 年 4 月 20 日（火）、第 13 回の委員会が開かれました。

- 1 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 21 号）
高齢者の医療の確保に関する法律の一部を改正する法律案（西村智奈美君外 10 名提出、衆法第 11 号）
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。
- | | |
|------------------------|-------|
| （参考人）健康保険組合連合会副会長・専務理事 | 佐野雅宏君 |
| 日本福祉大学名誉教授 | 二木立君 |
| 全国市長会相談役 | |
| 津市長 | 前葉泰幸君 |
| 全国保険医団体連合会会長 | 住江憲勇君 |
- （質疑者）大串正樹君（自民）、中島克仁君（立民）、伊佐進一君（公明）、宮本徹君（共産）、青山雅幸君（維新）、高井崇志君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

大串正樹君（自民）

- （1）健康保険法等改正案（閣法）の改正内容の効果的な周知・広報の方法についての佐野参考人の見解
- （2）受診控えの分析に向けた受診データの利活用方策についての佐野参考人の見解
- （3）受診データの利活用に係る地方自治体のメリット及び要望についての前葉参考人の見解
- （4）健康診査に係る受診データの蓄積方法及び健康管理について自ら考える機会の確保策についての佐野参考人の見解
- （5）国民健康保険における 40 歳以下の健康診査の受診率向上に向けた健康教育や広報等の取組状況についての前葉参考人の見解

中島克仁君（立民）

- （1）「応能負担原則は保険料や租税負担にのみ適用される」とする根拠及びその原則が崩れた場合に懸念される事項についての二木参考人の見解
- （2）高齢者医療確保法改正案（衆法）の内容に対する二木参考人及び住江参考人の評価
- （3）後期高齢者の窓口負担割合の引上げに伴う受診控えによる症状悪化への懸念に対する二木参考人及び住江参考人の見解
- （4）保険料の賦課限度額の引上げについての佐野参考人の見解

伊佐進一君（公明）

- （1）コロナ禍において後期高齢者の窓口負担割合の見直しに係る法改正を行うことについての前葉参考人の見解
- （2）窓口負担割合の見直しは現役世代への負担軽減は限定的でむしろ公費の削減のためとの指摘に対する佐野参考人の見解
- （3）現行の現役並み所得のある後期高齢者の窓口負担割合（3割）の是非についての二木参考人の見解
- （4）現役世代の窓口負担割合も後期高齢者と同様に所得により差異を設けるという方策についての二木参考人の見解
- （5）応能負担原則の保険料・租税負担への適用により生じる格差と保険としての一体感のバランスに関する二木参考人の見解

- (6) 保険料の賦課限度額の引上げについての前葉参考人の見解
- (7) 窓口負担割合の見直しによる健康影響の実証研究についての二木参考人の見解及びこれまでの窓口負担割合の引上げによる受診抑制についての佐野参考人の見解

宮本徹君（共産）

- (1) 応能負担を徹底すべきとの二木参考人の意見及び事業主負担と公費負担を引き上げるべきとの住江参考人の意見に対する各参考人の見解
- (2) 米国のランド研究所の研究結果における窓口負担の引上げの影響が大きい疾病についての二木参考人の知見
- (3) 窓口負担の引上げによる受診行動への影響により受診抑制が起きるとの指摘に対する佐野参考人及び前葉参考人の見解
- (4) 長瀬効果の数値を示していない与党協議をやり直すべきとの指摘に対する二木参考人及び住江参考人の見解

青山雅幸君（維新）

- (1) 社会保障制度における「能力に応じて負担し、ニーズ（必要）に応じて給付する」という原則のうち「ニーズ（必要）」の議論を深く行う必要性についての二木参考人の見解
- (2) 多様な他国の社会保障制度と比較して日本の社会保障制度を考える必要性についての住江参考人及び二木参考人の見解
- (3) 日本の医療水準は高く守っていくべきとの指摘に対する二木参考人の見解

高井崇志君（国民）

- (1) 医療保険制度の「次期改革への取り組み」に向けて速やかに検討を開始すべき時期及び「現役並所得者への公費投入」の具体的な内容についての佐野参考人の見解
- (2) 社会保障制度の財源確保のために法人税等の引上げや高齢者の金融資産への課税を行うに当たりマイナンバーの紐づけを義務付ける必要性についての各参考人の見解